

きたはま

令和6年
3月号
No.67

発行：
北浜コミュニティセンター
TEL 66-0002 FAX 66-0016

新生児さん

令和5年度中（令和6年2月末まで）に、北浜地区内では新たに1人の生命が誕生しました。少子高齢化と人口減少が加速的に進展する当地区にとって、誠に喜ばしい話題です。すくすくと元気に育ってください。

釜浦町 東町町内
和泉 裕之さん・紀衣さんの二女
ゆ ゆ
裕々ちゃん（令和6年1月16日生まれ）

北浜地区の人口 (R, 6, 2, 29)			
世帯数	男	女	合計
387	455	469	924
(昨年同期比) △1	△14	△12	△26



北浜のこどもたち

令和5年度北浜小学校卒業生さん

3月15日（金）は、北浜小学校の令和5年度卒業式でした。今年度は、女子児童2人が巣立っていかれました。南木つかささんは6年間北浜小学校で、佐藤ほのかさんは塩津小学校最後の入学生として1年間は塩津小学校で、残りの5年間は北浜小学校で勉学に励まれました。新型コロナの影響で、6年間のうちの3年間は、何かと不自由な小学校生活だったと思います。

4月からは、平田中学校へスクールバス、生活バスでの登校となり、これまでとはまた違った環境になりますが、早く慣れて、勉学、部活に励んでください。応援しています。



佐藤ほのかさん

南木つかささん



前列左から3人目が佐藤ほのかさん、同4人目が南木つかささん

令和六年度 自治協会事業計画・予算

令和六年度北浜自治協会の事業計画及び予算については、去る十二月二十日(水)に理事会を経て、引き続き開催した総代会において承認されました。北浜自治協会の事業計画及び予算は暦年ですが、役員任期は国や地方公共団体の会計年度と同一期間になっています。

【事業計画の概要】

一、理事会及び総代会の開催

- ・ 三月 令和五年度決算の承認(理事会・総代会)
- ・ 六月 市長要望等の取りまとめ(理事会)
- ・ 十二月 令和七年度事業計画及び予算(理事会・総代会)
- ・ 随時 必要に応じて開催

二、コミュニティへの育成支援：予算額の八・九%(六〇〇千円)

コミュニティセンター運営費交付金として、運営費と自主企画事業などへ支援しています。

三、各種団体への助成：予算額の四五・五%(三,〇七〇千円)

助成金(団体助成費)は、各種団体の活動を支援するものです。対象となる団体及びその金額は、次のとおりです。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ① 社会福祉協議会……一,三〇〇千円 | ② 体育協会……六〇〇千円 |
| ③ 消防後援会……六〇〇千円 | ④ 交通安全対策自治会……九〇千円 |
| ⑤ 土木委員協議会……七〇千円 | ⑥ 寿会連合会……九〇千円 |
| ⑦ 人権尊重のまちづくり推進協議会……五〇千円 | |
| ⑧ 花と緑のまちづくりサークル……二〇千円 | |
| ⑨ 自衛消防隊……一四〇千円 | |
| ⑩ コミュニティセンター建設期成同盟会……一〇〇千円 | |

四、北浜地区の防災対策：予算額の一・〇%(七〇千円)

防災会議及び防災訓練を実施します。



五、風力発電所及び太陽光発電所の推進及び支援

- ① 定例三者協議(出雲市・新出雲ウインドファーム・北浜自治協会)の実施：風力発電所

六、島根県及び出雲市への要望活動

各区からの要望を吟味し、ひとまとめにして、北浜地区の要望書として提出します。

七、十六島風車公園の管理を出雲市から受託

管理棟の開閉及び清掃並びに周辺の環境整備を行います。

八、少子化対策の実施

出生祝金(おひとり誕生につき10千円)を贈呈します。

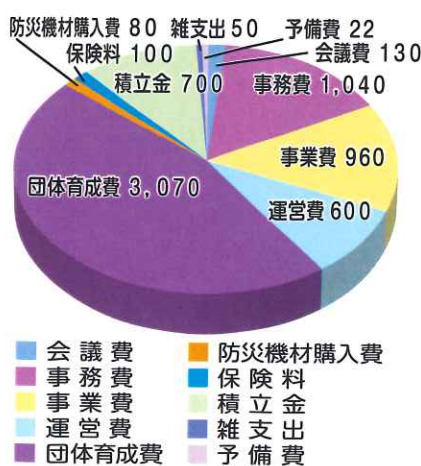
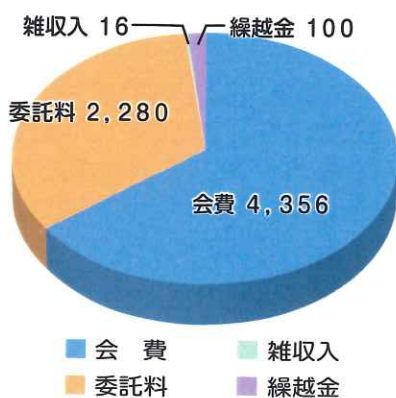
九、その他の地域振興

- ① 北浜小学校閉校記念イベントへの対応
- ② 北浜消防分団、自衛消防隊活動への支援
- ③ 北浜自治協会感謝状の贈呈

【予算について】

★歳入の部(総額六,七五二千円)

★歳出の部(総額六,七五二千円)



◎北浜自治協会から能登半島地震義援金として、一〇〇,〇〇〇円支出しました。

北浜自治協会感謝状贈呈式

北浜自治協会表彰規程による令和五年度の感謝状贈呈式が去る十二月二十日（水）の自治協会総代会の席上にて行われました。

今年度の対象者は、多井中町の小池昇さん（地区社会福祉協議会副会長として十年など）【代理 多井区長】、小津さくら町の松浦美治代さん（コミュニティセンター職員として十二年）の二名の方に小林幹治自治協会会長から感謝状と記念品が贈られました。

改めまして、北浜地区の為にご尽力をいただきました二名の方に感謝を申しあげますとともに、引き続き、ご支援を賜りますようお願いいたします。



団体育成費助成団体を募集します

コミュニティセンターでは、地区の皆様が令和6年度に実施される予定の活動や事業に対して助成を行います。

★対象 北浜地区の振興及び活性化等に寄与する活動を行う団体（非営利）

★申込期限 令和六年四月三十日（火）

※お気軽にご相談ください。

北浜コミュニティセンター建設関係

市の総合政策部自治振興課による「北浜コミュニティセンター移転改築」に関する第一回目の説明会が三月四日（月）にあり、北浜コミュニティセンター期成同盟会から五人が出席して、実質的には、意見交換の形で会議は進みました。

市側からは、現北浜小学校校舎一階フロアでの配置について、素案が示されました。その一方で、期成同盟会側も、あらかじめ北浜地区サイド案を協議していたことから、細部で異なる部分はあるものの、概ね、近似した内容であることを確認しました。

今後、二階・三階、体育館、駐車場等の方向性、一階フロアの詳細面の調整について、自治振興課のほかに建築住宅課の技師も含めて、協議を重ねていくことで合意しました。

北浜コミュニティセンター事業委員＆専門部員を募集します

コミュニティセンターの三つの専門部（総務安全部、文化環境部、健康福祉部）では、それぞれの部が年間を通じて、いろいろな楽しい企画を考え、開催しています。

あなたも興味ある事や体験してみたい事など、一緒に活動してみませんか？

皆さんの力で北浜を元氣いっぱい地域のしていきましょう。

★申込期限 令和六年四月三十日（火）

※お気軽にご相談ください。

街頭防犯カメラの増設

出雲地区防犯協会から毎年実施される街頭防犯カメラ設置要望調査を受けて、北浜地区では、今年度三か所(釜浦区南側車庫、十六島本郷区駐車場、十六島風車公園管理棟)について要望書を提出しました。昨年度まであったJAからのカメラ寄贈がなくなったことから、防犯協会予算のみでの対応となったことから、限られた予算の範囲内での整備となり、採択されるためのハードルが高くなるといわれていました。そうした背景下、二月二十九日付けで「十六島風車公園管理棟」を採択する旨の決定通知がありました。令和五年度の残された日数が少ないなか、年度内設置に向けて、三月十一日(月)、設置関係事業者による現地調査、電源確認等が行われました。

さらに、全く期せずして、三月十三日(水)の午前八時三十分、電話連絡ながら、「釜浦区南側車庫」が幸運にも繰り上げ当選のような形となって採択する旨の朗報が入りました。その直後に、前者と同様に現地調査、電源確認等が行われ、設置場所を「平田生活バス釜浦車庫」へ変更することも認められました。

地区内においては、三、四台目の設置となりますが、他地区と比較すれば、まだまだ少ない状況でもあり、長いスパンとなっても、粘り強く、設置要望を継続していくことが肝要です。また、状況次第では、自治協会設置も視野に入れながら進めていく必要もあります。

【十六島風車公園管理棟】



南西角の柱に設置予定



防犯カメラ撮影視野

【平田生活バス釜浦車庫】



旅伏小学校開校に向けての動き

令和七年四月開校予定の旅伏小学校については、現在、校舎建築工事及び屋内運動場建築工事が順調に進められています。夏ごろには、校舎、体育館回りの足場がとれて、県道鰐淵寺線からも姿が見えるようになることとです。とはいっても、くれぐれも、わき見運転はせず、安全運転に心がけてください。

さて、ハード面の次に、ソフト面の代表ともいうべき校歌について。作曲は西平田町在住で元教員の森脇恵津子さん(作曲実績：さくら小学校、朝陽小学校)、作詞は園町出身の角直之さん(作詞実績：朝陽小学校)により完成しました。先に、詞をつくられた角さんの意図を見極めつつ、地域の豊かな自然をイメージした曲を森脇さんが手がけられたようです。校歌のCDは、北浜コミセンにあります。お聴きになりたい方は、どうぞお越しください。



旅伏小学校校歌

眩しき空に 手を伸ばし
山からいする せせらぎを
見つめる眼 澄みわたる
青葉の紡ぐ そよ風ともに
こころ弾みて うるわし旅伏

たすきを繋ぎ 受け継ぐは
田畑うるおす 富める水
やがて流れも 淵となる
紅葉の積もる 大地のよつに
希望託して まなびし旅伏

歩みを共に 友垣と
浜に居並ぶ 舳先にて
海の広さを 抱きしめる
言葉の伝う 思いを胸に
巡りあう日へ うつくし旅伏

「平田LPガスターミナル 貯槽増設工事に係る地元説明会」 について

昭和五十六年十二月に、島根県有地である河下港臨海工業団地（小津地区）の分譲区画で初の企業進出となった岩谷産業株式会社の地域事業会社である「株式会社ホームエネルギー山陰」の「平田LPガスターミナル」に、貯槽増設計画とその工事が予定されていることが明らかになりました。

二月十日（土）、北浜コミュニティセンター会議室（旧JAしまね北浜店）において、事業主体である「岩谷産業株式会社」の担当者から事業概要の説明が行われました。この説明会には、北浜、西田及び鰐淵地区の自治協会会長、土木委員長、コミュニティセンター長が出席しました。

この計画は、現在の三〇〇トンタンク三基に加えて、新たに八三〇トンタンク一基を増設するもので、これにより、貯蔵量はほぼ二倍となり、平均在庫日数も約八、三日から約十五、八日に増え、安定供給力の強化が図られることになります。

タンクは、本年5月に神奈川県横浜市から海上輸送された後、設置され、六月〜七月に現地工事、完成検査受検後、八月から運用開始となる見込みです。



自衛消防訓練

現在の北浜コミュニティセンターは、令和三年四月二十日からJAしまね所有施設内で仮事務所として業務を執行しています。昨年までは、仮事務所であるが故に、防火対象物点検のほか、訓練も不要でしたが、今年度下半期から訓練実施が求められ（市消防本部予防課）、「消火訓練」及び「避難訓練」を二月二十九日（木）に、施設利用団体である「NPO法人 なないろネット」の職員にも参加いただき実施しました。



平田中学校地域広報委員会から 素敵ないいただきもの

十二月十三日（水）に、平田中学校の地域広報委員会（代理：成相教諭）から「日頃からお世話になっている地域の皆様へ感謝の気持ちをお届けしたい」というメッセージを花の苗（パンジー、ビオラ、プリムラデージーなど）に託して、十鉢ご提供いただきました。

引き続き、平田中学校生徒の皆さんを支援、応援していきます。ありがとうございました。



＊お知らせ＊

「幅員減少の看板設置」について

本誌令和五年十二月号（No六十六）の二ページ左下の記事「県道十六島直江停車場線の北浜小学校北側付近の拡幅について」は、令和四年度から県への要望の一案件でした。拡幅は、困難であるものの、令和五年度末までに、路面に「幅員減少」の表示をしていただける旨の連絡が十二月十四日（木）に出雲県土整備事務所の高橋土木工務第一課長から入りました。



また、一月十八日（木）には、北浜地区交通安全対策自治会により「幅員減少」の看板を二か所（旧森石運動場東側入り口付近（北浜小学校体育館東側）と旧森石運動場西側入り口付近）に設置しました。

＊最新情報＊

北浜地区の高齢化率が五〇%超に

やはりというべきかととうとうというべきか、北浜地区の高齢化率（六十五歳以上人口÷総人口）が令和六年二月末時点において五〇・一％となり、北浜地区全体が「限界集落」に突入していました。「コミュニティセンターベースでの市内四十三地区においては六番目、平田地域十一地区においては令和五年二月末から十三か月連続で一番高い数字となっています。

＊お知らせ＊

「デジタル式防災行政無線六〇MHz帯設備老朽化による二八〇MHz帯への移行」について

北浜地区内五か所にある六〇MHzの屋外スピーカーは、平成二十九年年度に設置されましたが、市内のシステム全般を二八〇MHz帯へ一本化するために、地区内では一月十九日に転換となり、最終的なアンテナ交換は二月二十九日に実施されました。

あとがき

パリ五輪開催年となる令和六年が明けてからわずか十六時間十分後、石川県の能登半島を震源とし、マグニチュード七・六、最大震度七を記録する大地震が発生しました。死者が二四一名（令和六年二月二十八日現在）にものぼり、平成二十八年（二〇一六）四月の熊本地震（二七三名）には、及ばないものの年明け早々からの大惨事となりました。この場を借りて、お悔みとお見舞いの言葉を申しあげたいと思います。

この地震発生からほぼ二か月たった二月二十九日の朝日新聞に衝撃的な記事が掲載されていました。南海トラフ巨大地震発生のイメージが強すぎるために、決して軽視しているわけではないにしても、「山陰は地震多発地域であることを認識し、備えることが大事」、「活断層がないのではなく、発見されづらいだけで、その特徴を有しているのが島根県東部から鳥取県にかけての地域」、「三十年以内にマグニチュード六・八以上の地震が起こる確率は、松江市周辺は四〇％」、「巨大地震が起きれば新しい地層の出雲市の市街地は、揺れやすく、液状化も起きやすい」云々。能登半島と島根半島、もとより地勢が異なるとはいえ、海岸周辺の狭い道路や原子力発電所が立地しているという環境は、よく似ていることもあり、石川県の今後の対応も踏まえて、島根県が県として、将来的にどのように対応を進めていけるのかがとても重要となってきます。